

南アルプス市 平成 26 年度

事務事業マネジメントシート (兼)予算編成資料・実施計画資料

作成日 H 年 月 日作成

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
26年度活動内容	社会法人 おひさまに委託
27年度活動予定	社会法人 おひさまに委託
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	
①児童の保育 ②保育所施設の維持・管理	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)	
①保育サービスの充実 ②施設維持・管理を適正に行う	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
安心して子育てができるようになる	

➡	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	
	名称	単位
ア	指定管理者との打合せ回数	回
イ		
ウ		
➡	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	
	名称	単位
ア	入所児童数	人
イ	施設の面積	m ²
ウ		
➡	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	
	名称	単位
ア	サービスに満足した保護者の割合(アンケート)	%
イ	施設・管理に関する苦情件数	件
ウ		
➡	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	
	名称	単位
ア	安心して子育てができると思う保護者の割合	%
イ		

(2) 事業費・指標の推移

(2) 事業費・指標の推移		単位	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算・実績)	26年度 (決算見込・実績)	27年度 (予算・目標)	28年度 (計画・目標)	29年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間トータルコスト	財源内訳	国庫支出金 貿易支払金 地方債 その他 一般財源	千円 千円 千円 千円 千円	5,120 5,120 5,120 2,467 128,909	5,120 5,120 25,890 26,116 100,615	5,120 5,120 27,408 27,408 101,759	5,120 5,120 100,467 104,309	5,120 5,120 100,467 104,309	5,120 5,120 104,309 104,309
	事業費	事業費計 (A)	千円	136,496	131,625	132,995	132,995	131,717	0
	人件費	正規職員従事人数 延べ業務時間	人 時間	2 100	2 100	2 100	2 100	2 100	0
		人件費計 (B)	千円	455	455	455	0	0	0
		(A)+(B)	千円	136,951	132,080	133,450	132,995	131,717	0
	活動指標	ア回		50.0	50.0	50.0			
		イ							
		ウ							
	対象指標	ア 人		170.0	170.0	170.0			
		イ m		1,221.0	1,221.0	1,221.0			
		ウ							
	成果指標	ア %							
		イ 件							
		ウ							
	上位成果指標	ア %							
		イ							

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

<p>① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？</p> <p>② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べどう変化しているか？また、今後の予測は？</p> <p>③ 事務事業に対して関係者（市民・事業対象者・議会等）からどんな意見・要望が寄せられているか？</p>	<p>大井・大明保育所の統合新設に伴い、新たなサービスの拡充を図るため導入。</p> <p>入所児童数の減少。</p> <p>保護者、児童に不安が生じないような運営を要望されている。</p>
--	---

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容↓】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由↓】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過 (取り組みしていない場合はその理由)	問題がないため、取り組みなし。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	問題がないため、取り組みなし。

事務事業名	大明保育所指定管理事業	所属部	保健福祉部	所属課	子育て支援課
-------	-------------	-----	-------	-----	--------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 公立ではできない土曜日保育(AM8:00～PM5:00)の充実などサービスの拡充に結びついている。
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 保育所は児童福祉法でいう「保育に欠ける乳児及び幼児を保育することを目的とする施設」であることから妥当である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。□ 民間・NPO □ 市民協働
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 民間活力を導入により、保育サービスの内容向上が図られるので維持継続は妥当である。
	④成果の向上余地 今後、工夫や努力をする事で、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 保育士の処遇改善が図られれば、更なる保育サービスの向上につながる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 公立で運営を行うと土曜日保育などサービスの低下につながる恐れがある。
効率性評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 保育士の賃金アップを図るため、削減余地はない。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 入所児童数などの県への報告は、公立保育所・民間保育所共にすべて保育所担当で行っているため、人件費については指定管理者制度となっても消滅余地はない。
公平性評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 事業の決定は、指定管理者選定審査会での審査を経ているため公正公平に行われている。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	指定管理5年目になるが、施設における管理、運営の評価は目標、計画通りの成果があり、施設の運営(保育)に関しては、目標や計画を上回る成果があった。
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)…複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																							
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成 果 水 準</td> <td>向 上</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>維 持</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低 下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準					削減	維持	増加	成 果 水 準	向 上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維 持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低 下	<input type="checkbox"/>		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成 果 水 準	向 上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																				
	維 持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																				
	低 下	<input type="checkbox"/>																						
(2)改革改善案について 賃金の向上を含めた保育士の処遇改善。	(5)事務事業優先度評価結果 平成26年度																							
(4)改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	成果優先度評価結果 (11)																							
	コスト削減優先度評価結果 (6)																							